

人工木の特性につきまして

■加工・塗装について

本製品を切断・加工などをしてご利用にならないでください。
本製品へのペイント仕上げはお避けください。

■温度特性について

本製品は原料に使用している樹脂の特性上、周囲の温度差による影響で若干の伸縮や反りが起きる場合があります。

■保管方法について

人工木材は木と樹脂の特性を合わせ持っています。商品の性質上、熱による伸縮や軟化がありますので、取り扱いにおきましては下記のご徹底をお願いします。保管・運搬を誤りますと使用に堪えない変形や破損が生じる恐れがあります。

■衝撃について

- ・本製品の上に重量物を落とさないようにしてください。割れやへこみ等の原因となります。
- ・本製品表面を傘等先端の尖ったもので突かないでください。破損や変形の原因となります。
- ・本製品に強い衝撃を与えないようにしてください。破損の原因となります。

■燃焼について

- ・本製品は可燃性ですので、周辺での火気の取り扱いには、十分ご注意ください。
- ・本製品の上で暖房器具やバーベキューコンロ等を使用しないでください。
- ・本製品の引火点は天然木とほぼ同じですので、天然木が燃えるような条件下では燃えてまいります。
- ・本製品が万が一引火・発火した場合は、水散布・各種消火器にて消火してください。

■色について

《色味》
本製品は原料に木材を使用しておりますので、色のばらつきが生じることがあります。自然の色合いをそのまま生かしておりますので、部材ごとに色に濃い薄いのばらつきがあります。

また、木質感の風合いをもたせるために、表面にサンディング加工をしておりますので、芝目のように本製品の長手方向に順目、逆目があります。施工後、光の当たり方や見る方向、角度により色が部分的に違って見えることがあります。

《変色》
天然木に見られるように、雨や太陽光の影響により、初期にある程度の変色がありますが、その後はほとんど変化しません。

《しみ》
使用環境によって雨・雷・散水などにより製品表面に部分的にしみが残ることがあります。※除去方法については「お手入れ方法」をご参照ください。

《汚れの付着》
表面をサンディングした際の削粉、ご使用中における表面のこすれ又は、雨や太陽光の影響により発生した粉および、表面に残った煤塵や黄砂などによる汚れが付着することがありますので、衣類・洗濯物・布団などが直接触れないようにしてください。

◆この現象の対処法
①衣類等へ粉が付着した場合は、クリーニング店等にご相談ください。
②防止策として、デッキを使用する場合は必ず履物を履いてご使用ください。
又、定期的に『通常のお手入れ』および『定期的なお手入れ』を実施してください。
特に、使用頻度の少ないところでは使用前に『定期的なお手入れ』を実施してください。

■その他の注意事項

- ・日中の日差しが強い時は表面が熱くなる事がありますので、歩行の際は必ず履物を履いてください。
特に小さなお子様ที่ใช้されている時は十分注意をしてください。
- ・本製品表面に灯油・ガソリン・有機溶剤が付着した場合はすぐに拭きとってください。変形・変色の原因となります。
- ・本製品の上に空き缶や鉄製の物等を置いて、長時間放置しないでください。鉄の錆等でしみができる原因となります。
- ・重量物を置かないでください。やむを得ず短時間だけ置く場合は敷板等を上に置いて、荷重が分散するようにしてください。
- ・本製品は製造時に発生した粉や繊維状のものが表面に残っている場合があります。天然木のささくれやトグなどは異なりますので、刺さったりすることはありません。
- ・表面のサンディング加工が原因で、お買い上げ当初、水の弾き方に一枚一枚差が生じる場合があります。時間経過により差異は無くなっていきます。

人工木のお手入れ方法とメンテナンス

■汚れについて

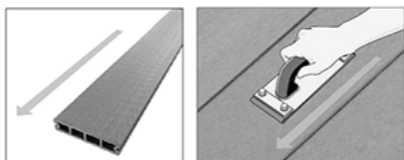
- ・汚れは使用頻度に大きく影響されます。特に工業地・海岸地域・排気ガスの多い場所ではお手入れの回数を増やしてください。
- ・汚れが付着した場合は、頑固な汚れになる前に清掃を行ってください。

■お手入れに際の注意事項

- ・ひどい汚れを落とす場合でも、強酸・強アルカリ・シンナーやベンジンなどの有機溶剤・石油類は使用しないでください。
- ・洗剤はきれいに洗い流してください。洗剤が残ると変色の原因となります。
- ・高圧洗浄機での洗浄も可能ですが、水圧によっては製品の木目加工に影響を及ぼしたり、製品表面に痕が残る場合がありますので影響の無い箇所(製品の端等)で状況を確認してからご使用ください。


■お手入れ方法

- 《通常のお手入れ》
- ・本製品についてごみや埃は、ほうき等で取り除いてください。汚れている部分は布カスポンジ・デッキブラシ等を使って、水洗いしてください。
- 《汚れがひどい場合》
- ・中性洗剤を所定の割合まで希釈し、布巾などで部材の長手方向に拭き、水で洗剤をきれいに洗い流してください。
- 《定期的なお手入れ》
- ・月に1~2回程度の頻度で、柔らかい布やスポンジ等で水拭きをした後に乾拭きしてください。
- 《しみ》
- ・使用環境により雨・雪等により、製品表面に部分的なしみが残ることがあります。
◆この現象の対処法
①通常のお手入れ方法で、本製品の表面のごみや埃・汚れを除去します。
②散水ホース等を用いて、本製品全体に表面が完全に濡れるように十分散水します。
③散水終了後に自然乾燥をしますとしみを目立たなくすることができます。
※製品表面に水が部分的に残っている場合は必ず乾拭きをしてください。
- 《カビ》
- ・カビの除去は市販のカビ取り剤をご利用ください。その際、カビ取り剤の使用方に従い十分注意して使用してください。
- 《傷・こげ痕》
- ・製品表面について傷や焦げ痕の除去方法
①通常のお手入れ方法で、本製品の表面にごみや埃、汚れを除去します。
②傷・こげ痕部分をサンドペーパー(＃100)で長手方向に擦り、傷・こげ痕を取り除きます。
③傷・こげ痕を取り除いた後、削粉を清掃します。
※初期の表面と若干異なることがありますので、お手入れ周辺を含め全体的にほかす感じで作業を行うことがポイントです。



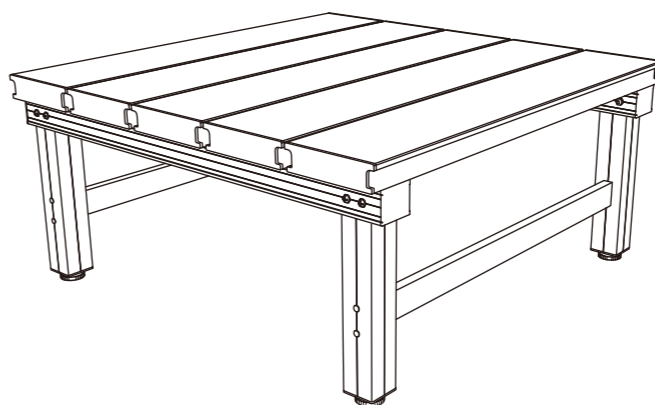
長手方向に沿って一方方向にサンドペーパーですります。

人工木アルミ連結デッキT型9090 組立取扱説明書

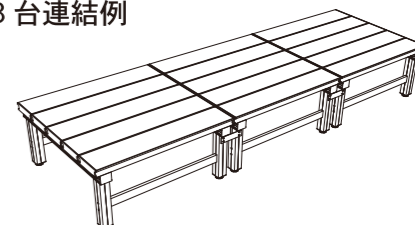
 組立説明書は大事に保管してください。

この度は本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
この組立取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

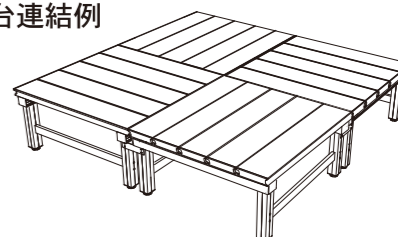
組立完成イメージ図



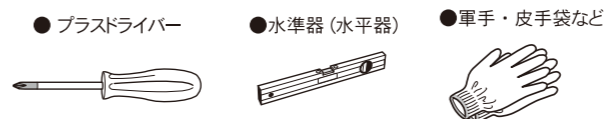
3台連結例



4台連結例



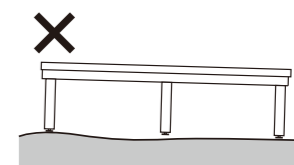
組立に必要な道具



ここに示した注意事項は安全に関する最も重要な内容です。
人身事故や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りくださいますようお願い致します。
記載事項に書かれた使い方以外の使用法や、注意事項を守らずに事故を起こされた場合の責任は負いかねますのであらかじめご了承ください。

使用上のご注意

- ◆運動具やお子様の遊具など、デッキ以外の使用は絶対にしないでください。
- ◆天板の1カ所に集中して乗ったり、重いものを乗せないでください。
座面が壊れてケガをする恐れがあります。(静止耐荷重:300kg/m²)
- ◆傾斜や段差のある不安定な場所での使用は、転倒の危険がありますのでおやめください。
必ず、平らで安定した地面でご使用ください。
- ◆座面が必ず水平になるように、アジャスターで調整して使用してください。
不安定な状態で、使用しますと転倒して怪我をする原因となります。
- ◆デッキの端部に荷重をかけないでください。転倒などにより思わぬケガをする恐れがあります。
特に小さなお子様やお年寄りご注意ください。
- ◆みだりに改造や変更はしないでください。
- ◆座面に火気を近づけないでください。熱いものを直接おかないでください。
燃えたり溶けたり、変形・変色する恐れがあります。
- ◆組立は所定のボルト・ねじを使用して最後まで締め付けてください。
締め付け不良は事故の原因となります。
- ◆持ち運ぶときは引きずったり投げたりなど、乱暴に扱わないでください。
- ◆製品が破損した場合は、すぐに修理などを完全に行ってください。破損したままで使用を続けると事故の原因となります。
- ◆設置後も定期的にボルトの締め直しや、強度の確認等の安全点検を忘れずに行ってください。



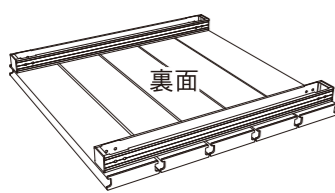
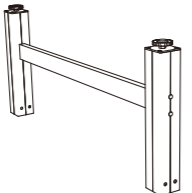
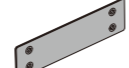

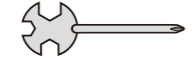

旭興進株式会社

〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央 1-11-1
千葉中央ツインビル 1号館 8F
TEL:043-227-8880(代表) FAX: 043-227-8887
MADE IN CHINA
20210528

組立上の注意

- ・組立説明書に従って、各部品を正しい位置に取付けてください。
- ・部品に傷がつかないように平らな場所でダンボール、毛布などを敷いた上で組立作業を行ってください。
- ・使用上のご注意とお手入れ方法は裏面をご覧ください。

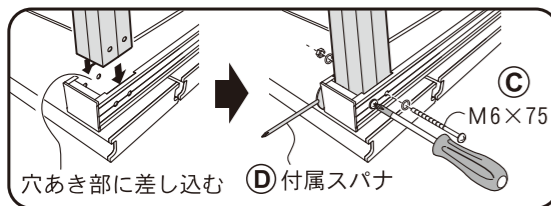
部品を確認してください。

<p>A 座板×1</p> 	<p>B 脚×2</p> 	<p>複数台連結時</p> <p>E 連結プレート×2</p>  <p>複数台連結する時に使います。 ※連結用プレートは連結の仕方により余りが出る場合があります。</p>	
<p>C M6×75ねじ×8本 脚取付用</p> 	<p>D スパナ×1</p> 		<p>F Φ4.2×19 サラダリルねじ×9 (予備1合) 連結プレート用</p> 

組立手順

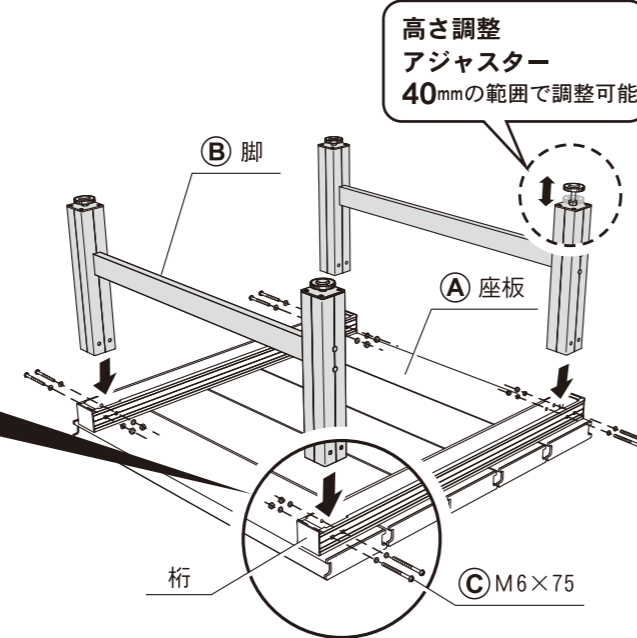
①座板に脚を取付けます。

座板**A**裏面の桁端部の穴あき部に脚**B**を差し込みます。
M6×75ねじ**C**で固定します。



②高さを調整します。

「高さ調整アジャスター」を調整して希望の高さにします。



高さ調整アジャスター

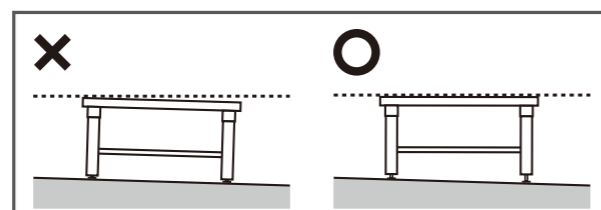
ナット

- ①付属スパナ**D**でナットをゆるめ、アジャスターを回して高さを調整します。
- ②調整後はナットをしっかりと締めて固定してください。

注)アジャスターは40mm以内で調整してください。40mmをこえますと、はずれるおそれがあります。

③水平を調整します。

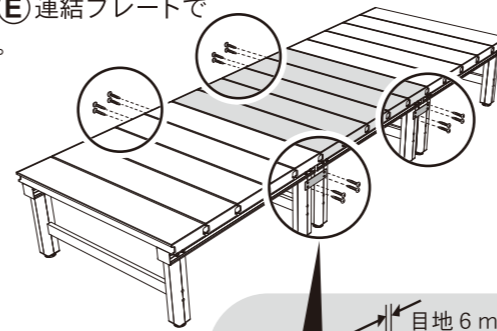
設置場所に置き、必ず水平レベル出しをしてください。



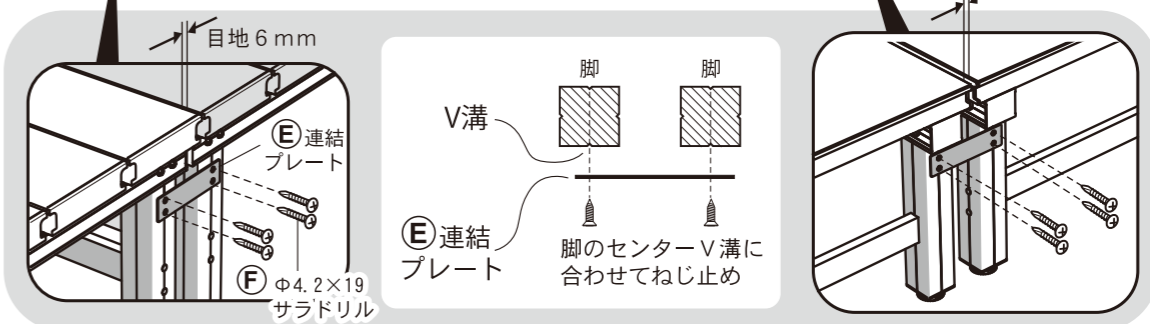
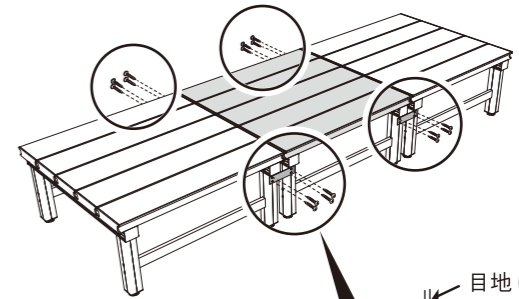
複数台連結をする場合

縦列・横列に連結していく場合

連結箇所を**E**連結プレートで固定します。

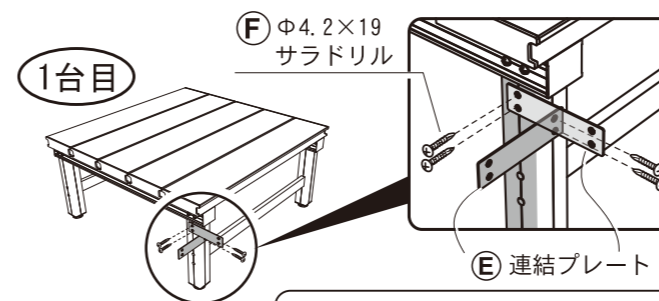


連結箇所を**E**連結プレートで固定します。



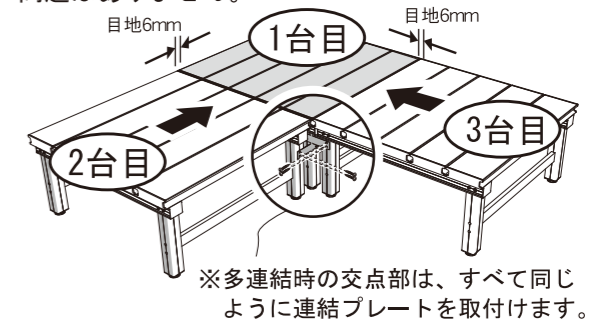
縦横に連結する場合 (例)4台を連結する場合

① 図のようにまず、1台目に連結プレート2枚を十字に取り付けます。



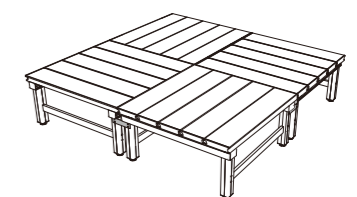
② ①で取付けた連結プレートに2台目、3台目のデッキを連結します。

※2台目、3台目はどちらを先に連結しても問題はありません。

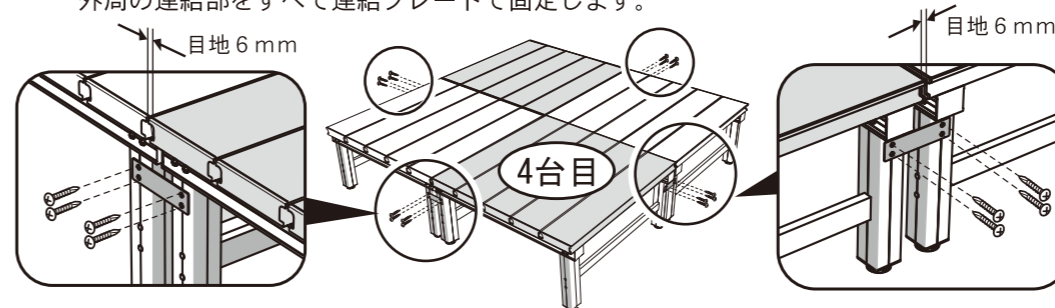


※多連結時の交点部は、すべて同じように連結プレートを取付けます。

床板を千鳥貼りする時も組立方法は同じです。



③ 4台目のデッキを配置します。連結プレートを使い図の位置で連結します。外周の連結部をすべて連結プレートで固定します。



④ 水平を調整し安全を確認の上、ご使用ください。

⚠ 連結時の注意

人工木アルミDX デッキT型 1890を連結する場合は横方向に連結可能です。縦方向には連結ができませんのでご注意ください。

